

男女共同参画社会へ向けて
一人の「100歩」より
100人の「いっぽ」を!!

いっぽ

Vol.14 2020

ワークライフバランス

やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても多様な生き方が選択・実現できることです。

個人にとって生活が充実するだけでなく、個々の職場や組織の生産性の向上にも役立ち、社会全体の安定と活力につながります。



知っていますか? 「男女共同参画」

「男女共同参画」とは、性別にかかわらず、家庭、職場、地域、学校など様々な分野において、自分の個性や能力を発揮しながら、ともに責任を担って、協力していくことです。

ダイバーシティ

多様な人材を積極的に活用しようという考え方のことです。

性別や人種にかかわらず、年齢、国籍、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することで生産性が高まります。



固定的性別 役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」などというような、長い歴史の中で作られた、性別によって役割を決めつける意識のことです。

役割を性別で固定化せず、一人ひとりができることを協力しながらやるのが大切です。



合志市が目指す男女共同参画社会

市は一人ひとりの幸せに生きる権利を大切に、お互いが共に輝いて生きる、真に心豊かで活力あるまちを目指しています。そのためには、性別にかかわらず、一人ひとりが大切な存在であることを認識し、互いに人権を尊重し、認め合うことが大切です。

市では、男女共同参画について理解を深めていただくため、市男女共同参画推進懇話会と共同で啓発イベント「気づきうなずきフェスティバル」を開催しました。(フェスティバルの内容は中面に掲載)男女共同参画について「いっぽ」踏み出して考えてみませんか。

合志市・合志市男女共同参画推進懇話会

あなたの一歩(いっぽ)が社会を変える! 男女共同参画社会づくり地域リーダーになりませんか。

市では、男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の視点を生かした地域づくりに取り組むことができる地域リーダーを育成するため、毎年5月頃、県主催の研修への参加者を広報紙などで募集しています。「職場や地域、家庭等の身近な場所をもっと心地良い場所にしたい」「男女関係なく、みんなが活躍できる場所を作りたい」と思っている方、参加してみませんか。

この研修は参加者満足度98%と高い評価を受けています。研修に係る費用は県及び市から補助もあります。



池邊 豊美さん
(令和元年度研修参加者)

男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業に熊本県内20名で参加した。国立女性教育会館では、男女共同参画社会を実現する為の研修が行われている。男女共同参画が不可欠な理由として高齢化、過疎化の進行、人間関係の希薄化や単身世帯の増加等の様々な変化が生じている。良好な地域社会の構築のためには、男女が共に担わなければならない。こうした場合、ひとり一人が加わり新しい公共を創造し地域力を高め持続可能な社会を築くことが最も重要であると言われている。

- で、父親が子育てするメリットとして、
1. 健やかな発育にいい影響がある。
 2. 子供の興味や価値観が広がる。
 3. 子どもの自己肯定感が高まる。
- 妻にとっては、
1. 時間と精神的な余裕で育児ストレス軽減。
 2. 子育てに前向きな気持ちになれる。
 3. 父親本人にとっては、人生が豊かになれる。
2. 子育てはアナザーワールドといわれている。と聞いた。これらのことから「イクメン」のプラス思考がうかがえる。全てにおいて男性の仕事、女性の仕事の固定概念が強く区別されている事が多いのではないだろうか。個々の特性を生かし男女関係なく協力する事のメリットをもう一度それぞれ考えるべきである。

私は男女お互いのリスク、メリットを共有し協力をしながら地域を住みよい町にする為にどうすればよいか考えてみたい。自治会がひとつになるためには、その小さな班をひとつにする。その小さな班の固まりがワンチームを作り上げると信じている。お互いが協力し切磋琢磨することが重要である。今回、県内で活躍されている方々と知り合うことができた。今後それぞれの地域について情報交換できればと思う。色々な面で協定を結ぶ事ができた。防災あるいは地域の活性化に役立つのではないだろうか。お互いに身近な存在でありながらわからない事も多い中、私達の小さなつながりが大きな力になると思う。

～合志市男女共同参画推進懇話会とは～
合志市男女共同参画まちづくり条例により、市民の視点による男女共同参画のまちづくりを推進し、男女共同参画に関する基本的かつ総合的な施策や重要事項を調査研究するための市民会議です。学識経験、各種団体推薦、公募、市長推薦により、現在は委員16人で構成されています。



お問い合わせ
合志市役所
総務課総務・男女共同参画班
TEL: 248-1112
FAX: 248-1196
メール: soumu@city.koshi.lg.jp

合志市男女共同参画推進行動計画 パートナースhip
プラン・こうしをご覧ください。
URL
<https://www.city.koshi.lg.jp/kiji0039637/index.html>



1月26日(日) 気づきうなずきフェスティバル ～よりよい関係作りませんか～を開催しました。

オープニングは西合志中学校吹奏楽部の演奏。水前寺清子さんの「365歩のマーチ」や昨年大ヒットした「パプリカ」などの演奏を披露してくれました。会場全体が手拍子に包まれ、演奏に合わせた子どもたちのかわいい踊りも見られました。



講演会の様子



来場者からの質問ひとつひとつに回答されました



多くの参加者が耳を傾けていました



荒木直美さんからの特別プレゼントをかけたじゃんけん大会



同時開催 遊びの広場

ダンス体験教室・わなげ・ストラックアウトなど、子どもたちのたくさんの笑顔が見られました。



講演会 家に帰ってすぐできる!

ひとひと 女と男のHAPPY!バランス術

講師 荒木 直美さん



平日夕方放送のKABくまパワJにレギュラーリポーターとしてもご活躍中の荒木直美さん。婚活コーディネーターとしても22年、男女の行動や考え方を熟知したアドバイスが好評で数々のイベントで多くのカップリングに成功されています。お互いを思いやる、よりよい関係づくりのきっかけとなるように、講演会を開催しました。

○婚活コーディネーターとして
現在、未婚化や晩婚化が進んでいきます。結婚する人が少ないと同時に少子化も進んでいます。男性の5人に1人、女性の7人に1人が未婚と言われていますが、独身者の9割がいずれは結婚しようと思っているという統計があります。職場と家の通勤だけではなかなか出会いの場も少ないので、婚活イベントに参加してみることをお勧めします。イベントに参加するだけではカップル成立は難しいです。日本の風潮として、大学生ぐらいまではなるべく遠慮がちに恋愛をしなければいけないような風潮が強いですが、就職して社会に少しなじんだら、親から「誰かいい人いないの?」と聞かれるようになります。ですが、そこから結婚に動き出すのもどうやっていいかわからないのです。私の婚活イベントでは、学校では教えてくれなかった婚活のやり方と婚活で結果を出す方法を一から教えます。やる気を出させて、これまで婚活イベントで1300組のカップルを成立させてきました。

私の体の半分は「OSK」。「おせっかい」で出来ていると思っています。おせっかいには愛があります。セクハラになるかもとおせっかいを封印している人がいますが、もっとおせっかいをする人が今の時代に必要だと思っています。

参加者の声

子育てや家族間でのコミュニケーションの取り方についてとてもよく分かった。

婚活と男女共同参画の関りが良く分かりました。

発する言葉は感謝・労い・説明に使用したいと思います。

相手のことを第一に考えることが大事だと思いました。

○肩の力を抜いた子育ての方法
マンガ家の桜田幸子さんと一緒に、お母さんを応援する「こそだてがかり」というユニットを結成しています。子育て中のお母さんたちは本当に頑張っている、泣いて子育ての話をされるお母さんもあります。お母さんたちが笑って子育てできる日本にならないとなかなか少子化は解消しません。子育ての方には「頑張る」ではなく「頑張ってるね」と褒めてあげてください。

お母さんは、全てに全力では自分もつぶれてしまいます。子供の反抗期・自分の更年期・親の介護期が重なることもあります。子どもとの距離間の良い加減を見つけてください。お母さんが笑顔だと家族も嬉しいので、お母さんが笑顔でいれることが何よりです。

○夫婦間のすれ違いを解消する方法
よくある夫婦のすれ違い
①不満に思うこと
夫は「妻の話が長い」
妻は「こちらから言わなくても夫に察知して欲しい」
解決へのアドバイス
女性は一日に2万語を発する。その2万語を説明に使うと、男性も理解しやすい。
②家事育児の分担について
解決へのアドバイス
分担図を作って、必要な手伝いを具体的に気づかせてあげる。
相手との関係を50対50にせず、お互いが60の気持ちで労わりあうことがおすすめです。相手の現状を理解して、どんなバランスで共有していくかを話し合い、分かち合うことが大切だと思います。